

エッ！ 私にもできるの？

ボーイスカウト佐倉第4団

地域貢献活動の一つとして、6月25日井野町一区防災訓練会場に見学に行きました。佐倉消防署員から消火器・AEDなどの取り扱いの指導があり、次にボーイスカウトの皆さんが隊長の説明に合わせ、簡易担架の作り方・運搬方法、三角巾の使用方法、ロープワーク、ブルーシートを使用したテントの設営など一生懸命に実施していました。町内会参加者の皆さんも一つひとつ感心して子どもたちから実演指導を受けていました。この様な活動はほんの一部で、三宅浩之団委員長をはじめ、隊長、副長、保護者、それにOBの方々が支援・協力し、野外活動キャンプ、40kmの長距離ハイク、募金活動、ゴミ拾いなどの活動を進めています。これらをとし青少年育成に取り組んでいます。



夏キャンプ(檜原湖)



自発的を大切に、野外活動を中心に貢献活動や環境問題への取り組みなど、「考え抜く力」「あきらめない力」「チームワーク」など、社会で求められる力を育みます。
活動日：月2～3回、夏キャンプ、耐寒キャンプ



ボーイスカウトの子どもたちが、日進月歩で何でも手に入るこの時代に、何も無い場所に行っても、「楽しく力強く生活できる人間に育てて欲しい」と話す稲越和雄隊長の笑顔が素敵でした。

取材：奥村・宮本

使用済み切手収集の会

バサッ！ 今日1年に2回(7月と12月)市役所の各階を回って沢山の使用済み切手を集める一斉回収日でした。会員の方がペットボトルの容器を切って、危なくないように縁にテープを貼って作った入れ物がカウンターのあちこちに置いてありましたが、それ以上に集まって段ボール箱に取っておいてくれたのでした。また、市民の方や、各企業からも届いているそうです。



使用済み切手等の整理
活動日：月1回 第3月曜日(8月は休み)

色鮮やかな世界各国のきれいな切手や、日本の昔懐かしい切手、珍しい切手など、つい見てしまいますが、切手の周囲を5mm弱残して、チョキチョキと切っていきます。実際にやってみると結構むずかしく、なかなか手が落ち着きません。周囲が太かったり細かったりしますが、会員の皆さんは、楽しい会話や、ためになるお話に一喜一憂しながら手は休めずに進めます。会員は18人、毎月8割～9割の出席率というのも驚きです。



佐倉市民カレッジの仲間が始めてから20数年。「無理なく、気楽に集まってできるのがいいのよ!」「その上何か役に立つボランティア活動ができるのもうれしいわ!」「生活の一部になっているわ!」と皆さん笑顔でおっしゃっていました。

取材：稲越

＜佐倉市内9か所に設置された回収ボックス＞
西部・南部地域福祉センター、志津コミュニティセンター、白井・志津・ユカリが丘郵便局、商工会議所、印旛合同庁舎、社会福祉協議会

もちろん！ ♪♪♪♪♪～

印旛沼ネットワークの会

ふるさと広場の売店「佐蘭花」に集合。7月8日のクリーン活動に参加しました。とにかく暑い日！ 会員数100余名中、約20名の皆さんと竜神橋付近での活動となりました。代表の小島以久男さんのお説明で廻り、各地で問題の「外来植物(ナガエツルノゲイトウなど)」が印旛沼でも増殖中。カミツキガメは「外来生物」として困り者。学校では子どもたちに沼に近づかないように指導しているとの事です。せっかく自然溢れる環境の中にいるのに残念です。



チューリップフェスタ



ボランティア活動を通じ、佐倉の自然・歴史文化のシンボルにふさわしい多くの人に親しまれる印旛沼の環境づくりを目指す
活動日：春夏秋冬クリーン活動、チューリップフェスタ支援活動、他随時

この会は、佐倉市民カレッジ卒業生有志中心に18年間の活動を重ねてきました。「クリーン活動」として沼周辺の清掃を年7回、「チューリップフェスタ」では子どもたちに球根の植え方を指導、「外来植物の植生調査」「パネル展示」「情報発信」など様々な活動の中で、多くの人に親しまれる印旛沼の環境づくりを目指しています。

江戸時代初期から始まった洪水対策の為に3回にわたる大工事は、昭和44年に完成で、今の穏やかな印旛沼となったことを、この日のミニ勉強会で学びました。

自然との触れ合いを楽しみながら活動していらっしやるみなさまに敬服いたします。

取材：柏崎



個人ボランティア

柏崎 道子さん



志津地域を中心に、多方面で活動
活動日：毎週月曜日 わくわく体操
毎週水曜日 こども食堂(白井)
月3回 デイサービス訪問 他随時

7月にお会いして個人ボランティアを始めたキッカケを伺いました。最初のキッカケは、自治会の地域清掃活動で顔を合せた人たちと「今度お茶を飲みましょう」と言ってから数年後に「お茶飲みはいつ?」と言われ、ただのお茶のみのつもりで始めた会が、今では自治会館での毎月1回開催の「コミュニティカフェ」お茶処『いこい』になったそうです。始まってから5年、その仲間と共に「佐倉わくわく体操会」も毎週月曜日に開催中。

もう一つのキッカケは、佐倉市ボランティアセンター主催の「傾聴講座」。終了後にお仲間に誘われてデイサービスの施設を2か所訪問するようになり、認知症予防ゲーム「スリーA」を土台にしたゲームと相棒の上田暉子さんの大正琴の伴奏で皆さんと歌を歌って楽しんでいるそうです。



こども食堂(ほっとすぱーす・つき)

今では「ほっとすぱーす・つき」というNPO法人主催の「こども食堂」で夕飯づくりもされています。毎週水曜日に、約25人分の夕食を10人程のスタッフが2人ずつ交代で担当。様々な状況の中で生きる子どもたちの居場所づくりの一助になればとお仲間と頑張っているそうです。

こども食堂では、子どもたちのにぎやかな声に、笑いながら箸をすすめるお年寄りの姿も印象的でした。



みんなで楽しくお食事中!

取材：渡辺